

記録的な猛暑だった夏もようやく終わり、朝夕は過ごしやすくなってきましたね。
クリニック通信 27 号が出来ましたのでご一読ください。

院長ブログより 《私の国際貢献》

クリニックには開院以来外国人の患者さんが多く受診されています。国際都市神戸ということも一因でしょうが、当院では英語を話せる外国人の方を通訳なしでも積極的に受け入れているため、在日外国人はもちろん、ビジネスや観光で来日している方や、神戸港に停泊中の船の船員さんが来ることもあります。

もちろん英語以外の場合は通訳が必要ですが、その国の言葉を挨拶程度でも話してあげると、お互い緊張が溶けてその後の診療もしやすくなります。

私たち日本人が万が一外国で病気になった時のことを考えれば容易に判るように、多少日本語が話せたり通訳の方が同伴していても、やはり直接ことばが通じるととても安心されますし、その上親切丁寧な対応を受ければ、感謝の気持ちを抱き、その国に良い印象を持つでしょう。

実は開業して本当に役に立っていることの一つは、学生時代から英語が好きで、ずっと勉強してきたことです。

今でこそ外国語の早期教育がかまびすしく叫ばれていますが、当時は中学校で初めて習うのが通常で、私もその例外ではありませんでした。アルファベットにはそれまでローマ字くらいでしか接したことがなかった私でしたが、どういうわけか習い始めたとたんにとんどんとのめりこんでいき、英語の成績だけは中高通じてほとんどトップクラスでした。また R と L の区別、あいまい母音など日本人にとって苦手とされる発音も全く苦にならず、イエズス会の設立ゆえに学校に多くいた外国人の先生方にも発音がよいと褒められ、それが嬉しくてとんどん勉強しました。

今の時代とは隔世の感がありますが、当時は外国語に接するのは、ラジオやテレビの教育番組かカセットテープに吹き込まれた英語教材くらいでした。高校1年ころだったか、アメリカから帰国子女の生徒が転校してきて本場仕込みの流暢な英語を聞いた時は、まさにカルチャーショックでした。

大学、そして医師になってからは、少し背伸びをして一流の英語雑誌である「TIME」を定期購読、最初は全く歯が立ちませんでした。辞書を引き引き半年も我慢して読み続けていると、そのうち英字新聞などもすらすら読めるようになりました。



しかし何といっても、いずれは本場アメリカで自分の英語を試してみたいという気持ちが日増しに大きくなりました。

それは 20 歳代の終わりに米国の国際学会に共同演者として参加した時に訪れました。それまで自分なりに勉強を続け、英語にはそれなりに自信があった私でしたが、その自信は見事に打ち砕かれました。

けれどもその挫折は私をますます英語の勉強に没頭させることとなり、30 歳のときに、当時の大学病院の上司の伝手で、ついに米国ピッツバーグ大学胸部外科への留学の機会

を得ました。

2 年間の留学生活はまさに英語漬けでした。研究チームで毎週のように行われるディスカッションなどでは生半可な英語ではついていけず、最初は本当に苦勞



しました。しかし私と同じようにアジアなどの非英語圏から来ている研究者たちが、決して流暢とは言えない英語でも果敢に喋っているのを眼にすると、とにかく間違いを恐れずとんどん積極的に喋ることが重要なのだと気づかされました。

私生活でももちろん最初は苦勞しました。米国では自動車免許が個人の ID として最も重要視されるため、その獲得は死活問題でした。しかもペンシルバニア州は試験が結構厳しく、外国人だからといって容赦はありません。分厚い教則本を読まなければならない上、実技試験はもちろん英語です。英語が苦手だったかみさんも、毎日気がつく教則本の上に突っ伏している(笑)ような日々が続きましたが、なんとか読み終え、二人とも再試験でようやく免許をとることができました。

買い物や旅行や諸手続きなどの日常生活はもちろん、はては自動車をぶつけられた時に無謀にも(笑)起こした簡易裁判まで、あらゆる場面で英語を使わざるを得ませんでした。本当に鍛えられました。

そしてその時々で出会った便利な表現はノートに書き溜め、辞書には載っていない生きた英語表現として今でも役に立っています。

英語だけではありませんが、外国語を学ぶことはただその言葉を学ぶというよりは異なった文化、社会など自分にとって未知のものを知ることができるという意味で、大いに知的興味をそそり、視野を拓げられると思います。

ところで今、4 年後にオリンピックも控え、グローバルズムの流れの中で観光立国を目指している我が国には、世界各国からの観光客が激増しています。観光というとかく中国人の爆買いのような話ばかりが話題になりますが、彼らが本場の日本の良さを知ってまた来日したいと思ってくれば、こんなにありがたいことはありません。

また、日本の高度な医療を世界の人々のためにも役立てようと、官民一体となって医療ツーリズムを進めようとしています。このことについても賛否両論はありますが、私個人としては、我が国がどう国際貢献していくか議論になっている昨今、グレードとホスピタリティーの高い我が国の医療を世界の人々に利用してもらうのは、ある程度の弊害もあるにせよ、それ以上に有意義なことだと思っています。

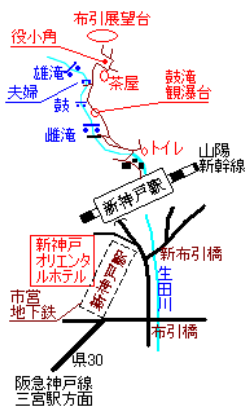
そして、こんな小さなクリニックでも、外国の人たちが受診をきっかけに日本、そして日本人のことを好きになってくれるような一助になれば、少しは我が国の国際貢献に役立てたかなと思います。



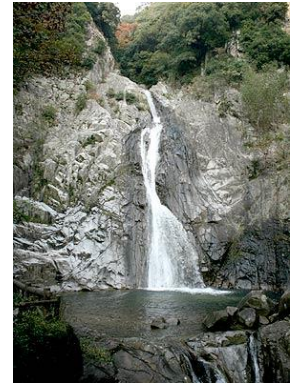
今月の話題「布引の滝」

今回は、クリニックの近所、皆さんご存知の布引の滝の紹介です。

「何をいまさら…、私たちがの方がよう知っとるウ！」というようなお声が聞こえてくるようですが…(笑)



でも、地元の皆さまには当たり前なものだとは思いますが、私のように県外から来た者にはこんなに街と自然の近い環境は珍しく、またその中でも「日本の滝百選」に選ばれ、那智の滝、華厳の滝と並び「三大神滝」といわれている滝が、新神戸駅から散歩のように歩いて行ける…！こんなに有名な滝がこんなに近くに…？と、驚きと感動の環境なのです。



また、布引の滝の周辺には「歌碑」がたくさんあり、HAT神戸に続く道は、「歌碑のみち 布引三十六歌碑」文学と歴史の散歩道、と題してマップも作られており、神戸の歴史の一端を感じることが出来ます。

文学の秋、紅葉の秋、そして地元の素晴らしさ再認識の秋はいかがでしょうか？

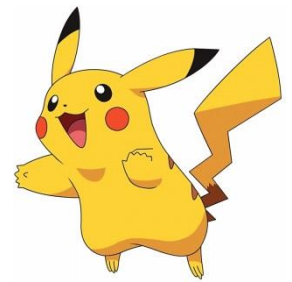
(看護師MMより)

じむこらむ 新しい出会い

元来ひねくれ者のため普段は世間の流行に乗りたがらない私ですが、こればかりは手を出さずにいられませんでした。

そう、ポケモンGOです。

なんせ楽しい！！子供の頃、小さなゲーム画面の中で夢中になって捕まえていたポケモンを、実際に自分の住む町を探し回ることによって捕まえることができる…！、これが本当に嬉しいのです。それに加えてなお良いことは、街を歩くことで自分の知らなかった、気に留めていなかったものに気付けるということ。新神戸や三ノ宮近辺にも、たくさんの歌碑やお地蔵さん、銅像など素晴らしいものがあることを知りました。



それから驚いたのが、私より上の世代の方々もポケモンGOをしている方が多いこと。お子さんやお孫さんの影響、仕事で触れ合う子供たちとの話題作りなどで始められるのだとか。なるほど確かに、世代を超えて共通の話題で盛り上げられるというのは嬉しいものです。

プレイしていて交通事故を起こした、などの悲しい話も聞きますし、これは確かにあってはならないことです。しかし、何年も引きこもりだった子供がポケモンGOを始めて外に出るようになった、などの喜ばしい話も耳にします。

どんな物だって毒にも薬にもなる、それなら使い方を考えて薬として扱っていきたい…と考えつつ、今日もポケモン探しに出かける私であります。どなたかピカチュウの居場所をご存知ありませんか！？

(事務スタッフONより)

追伸：クリニックの中にもポケモンがいるかもしれませんね？いちど試してみてください(笑)(院長より)

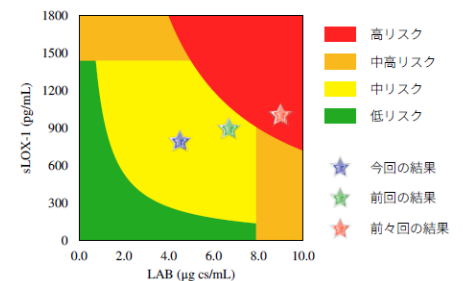
お知らせ 「ロックスインデックス検査」を始めました。

ガンについて日本人の死因の多くを占める脳梗塞や心筋梗塞は、動脈硬化が原因によっておこる恐ろしい病気です。

この検査では、簡単な血液検査により、自分が今後脳梗塞や心筋梗塞になる可能性がどれくらいあるかを客観的に知ることができます。

健康保険は効きませんので、自費で12,000円(税込)ですが、予約も絶食も不要ですので、ご希望の方はいつでもお申し出ください。

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。



☆クリニック通信のバックナンバーをご希望の方は、受付でお申し出ください。
院長ブログはHPからリンクしていますので、他のブログもぜひご一読ください。

おおかど循環器科クリニック

循環器科・呼吸器科・外科

院長 大加戸彰彦

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通 7-1-13 神戸芸術センタービル内医療モール 4F

TEL 078-855-9151 FAX 078-251-5033

e-mail aki-ohkado@ohkado-heart-clinic.com

HP <http://www.ohkado-heart-clinic.com>

診察時間 午前9～12時・午後4～7時 木・土曜日午後、日祝日は休診